

第 11 回 宿毛パラダイスカップ 高知県サッカー大会 大会要項

(6 年生・5 年生の部)

- 1 名 称 第 11 回 宿毛パラダイスカップ 高知県サッカー大会
- 2 主 催 (一社) 高知県サッカー協会
- 3 主 管 (一社) 高知県サッカー協会 第 4 種委員会
- 4 協 賛 宿毛市ホテル 4 社 (秋沢ホテル・ホテルアバン宿毛・ホテルあさひ・ホテルマツヤ)
- 5 後 援 宿毛市
宿毛市教育委員会
- 6 期 日 6 年生の部 予選ラウンド 令和 7 年 2 月 22 (土) / 2 月 23 日 (日)
6 年生・5 年生の部 決勝ラウンド 令和 7 年 3 月 1 日 (土) / 2 日 (日)
- 7 会 場 宿毛市総合運動公園 (6 年生の部予選ラウンドと 6・5 年生の部決勝ラウンド)
土佐西南大規模運動公園 A・B (6 年生の部予選ラウンド)
- 8 参加資格
 - ①参加チームは、大会実施年度に日本サッカー協会第 4 種及び女子 (小学生) に加盟登録したチームであること。
 - ②上記参加チームの構成は、単一加盟チームに限られ、その加盟チームは年間を通じて継続的に活動していること。
 - ③参加選手は、上記加盟チームに所属する選手であること。
 - ④6 年生の部は、②③を適用しない。また、他の加盟チームとの合同での参加を認める。
 - ⑤5 年生の部 (地区予選及び本大会) に参加する選手は地区予選大会から本大会に至るまでに、同一参加選手が異なる加盟チームへの移籍後、再び参加することはできない。
 - ⑥5 年生の部 (地区予選及び本大会) に参加する選手は 6 年生の部に参加できない。また、6 年生の部に参加する 5 年生以下の選手は 5 年生の部に参加できない。
 - ⑦本大会 (地区予選含む) において同一チームから複数チームで参加する場合、本大会終了までチーム間での入れ換えはできない。
 - ⑧本大会 (地区予選含む) に参加する選手は健康であり、参加について必ず親権者の同意のある者とする。
 - ⑨参加チームの選手・指導者は、チームの責任において傷害保険に加入していること。
- 9 参加チーム数
 - ①本大会 (地区予選含む) には、同一チームより複数チームが参加することができる。
 - ②5 年生の部の決勝ラウンドに参加するチームについては、各地区で予選大会を実施し、抽選会までに決定すること。参加チームは 16 チームで、地区枠は次のとおりとする。
(東部地区: 4 中央地区: 8 高吾地区: 2 西部地区: 2)
- 10 競技方法
 - ①6 年生の部
予選ラウンドは、参加チームを 8 ブロックに分けリーグ戦を行う。
決勝ラウンドは、予選各ブロック上位 2 チームによりトーナメント戦を行う。
6 年生の部は、シード無し。
 - ②5 年生の部
参加 16 チームによる決勝ラウンド (トーナメント戦等) を行う。5 年生の部のシードについては、直近大会の結果を参考とする。

- 11 参加費 6年生の部 予選ラウンド：1チーム 5,000円 決勝ラウンド：1チーム 5,000円
5年生の部 決勝ラウンド：1チーム 5,000円

参加費は振り込みにて、2月5日（水）までにお願いいたします。

四国銀行 本店営業部 普通口座 1681084
一般社団法人高知県サッカー協会4種委員会 会長 松木 泰則

- 12 表彰 6年生・5年生の部
優勝チーム 賞状・メダル(金) 準優勝チーム 賞状・メダル(銀)
第三位チーム 賞状・メダル(銅) 第四位チーム 賞状

- 13 申し込み 6年生・5年生の部に参加するチームは、今回送付したエントリー表にて申込みをしてください。
・6年生の部に参加するチームは、令和7年1月10（金）までに事務局高林までメールにて提出してください。
・5年生の部の決勝ラウンドに進出するチームのエントリー表は、各地区長において選手確認の上、令和6年2月5（水）までに事務局高林までメールにて提出してください。

- 14 エントリー表について
・5年生の部に出場する選手の氏名、登録番号、背番号等は間違いのないようにお願いします。
・エントリー表ファイル名には、必ず、チーム名を入力してください。
・エントリー選手数は、原則、1チーム16名までとします。

- 15 抽選会 令和7年2月9（日）
抽選会場：春野文化ホールピアステージ（高知市春野町西分340）

- 16 開会式 開会式は行わない。

- 17 閉会式 最終戦終了後行う。

- 18 医療関係 高知県サッカー協会は、試合会場での応急処置のみを行います。緊急を要する場合は、救急車の手配をするとともに、現場での可能な範囲で対応いたします。

- 19 注意事項 ゴミは全て、チームの責任において必ず持ち帰ること。

- 20 競技規則 （公財）日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。

21 競技会規定

以下の項目については、本大会の規定を定める。

(1) 競技のフィールド

フィールドの表面は、天然芝が望ましい。

サイズは以下のとおりとする。

フィールドの大きさ：長さ（タッチライン）68m×幅（ゴールライン）50m以内

ペナルティエリア：12m

ペナルティーマーク：8m

ペナルティアークの半径：7m

ゴールエリア：4m

センターサークルの半径：7m

(2) ボール

4号球とする。参加チームは、決勝まで試合球を2個持参のこと。

(3) 競技者の数

競技者の数は8名とする。ただし、競技者の最低人数は6名（内1名はゴールキーパー）とし、それ以下は認めない。

競技者が6名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対5として敗戦したものとみなす。

(4) 交代要員の数

ベンチに入ることができる人数は、エントリーされた選手であれば制限なしとし、また、交代要員の数は、エントリーされた選手であれば制限なしとする。

- (5) 交代を行うことができる数
制限なし（交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。）
- (6) ベンチ入りするチーム役員の数
2名以上3名以下とする。なお、1名以上がJFA公認指導者ライセンス（D級コーチライセンス以上）を有することが望ましい。
- (7) 審判員
予選～ベスト16まで 1人制審判
ベスト8以降3人制（1人の主審と2人の副審、1人補助審判）を採用する。
※ベスト8以降に参加するチームは2名の公認審判員を帯同すること。
自チームで審判を確保できない場合は、他チームに依頼し審判を確保すること。
- (8) テクニカルエリア
設置する。（その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。）
- (9) 競技者の用具・ユニフォーム
①JFAのユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
②本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
③正・副の2色については明確に異なる色とする。
④審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
⑤前項の場合、審判員は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
⑥ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること（FP・GK用共）。参加申込書に登録されたものを原則とする。
⑦シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
⑧選手番号については、参加選手ごとに参加申込書に登録されたものを使用する。
⑨ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。
⑩試合中のビブスの着用について
対戦チームのユニホームカラーなど、または、不測の場合は、ビブスの着用を大会本部にて認めるものとする。
- (10) 装身具
一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。
ただし、スポーツメガネの着用については別途対応とする。
- (11) 試合時間
①6年生の部40分（前後半制20分×2）、5年生の部30分（前後半制15分×2）
ただし、1日3試合となる場合は、別途考慮する。
②ハーフタイムのインターバルは原則5分間
- (12) 試合の勝者を決定する方法
○リーグ戦
順位決定方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により勝点の多い順に決定する。
なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
①全試合の得失点差【総得点－総失点】 ②全試合の総得点 ③当該チーム同士の対戦成績（勝敗）①～③の全項目において同一の場合は抽選により決定する。
○トーナメント戦
①決勝戦以外は、延長戦は行わずペナルティーキック方式により勝利チームを決定する。
②決勝戦は、10分間（前後半各5分）の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティーキック方式により勝利チームを決定する。
③延長戦に入る前のインターバル：原則5分間
④ペナルティーキック方式に入る前のインターバル：原則1分間
- (13) 交代の手続き
①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。ただし、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
③交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
④交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。
⑤ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
※交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールド

を離れてもよい。

(14) ゴールキーパーの交代について

- ①ゴールキーパーをフィールドの選手と入れ替えする場合
アウトオブプレー時に入れ替えをすることができる。その際、キーパーは、フィールドプレーヤーのゲームシャツ（同一番号）を着用する。フィールドプレーヤーは、異色のゲームシャツ（同一番号）を着用する。この際、キーパーの入れ替えにより空費された時間は、前、後半それぞれ競技時間を追加する。（アディショナルタイム）
- ②控えのゴールキーパーがフィールドの選手として交代する場合
フィールドプレーヤーのゲームシャツ（同一番号）を着用する。
- ③PK方式でのゴールキーパーの交代について
試合終了の笛が鳴った時点で、フィールド内の選手間での交代は自由。ただし、交代方法は①と同様とする。

(15) 負傷者の対応

主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。

22 指導者が選手を引率する際の留意事項

- ①選手個々の権利、尊厳及び価値を尊重し、平等に取り扱うこと。
- ②選手の福利及び安全を最優先で扱うこと。
- ③身体に対する暴力行為を行わないこと
- ④不適切な言葉を使用しないこと
- ⑤身体に対する暴力行為や不適切な言葉の使用を放置しないこと。

23 懲罰

- ①警告・退場：通常の競技規則に準ずる。
- ②退場：競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- ③退席処分：ベンチ（監督・コーチ・役員他）が判定に対して異議を唱えたり、選手に対し罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングは不可とする。
- ④大会期間中、警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- ⑤本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。悪質な場合は、それ以降の処置について、第4種委員会役員をもって規律委員会を構成し処分を検討する。

24 医療関係

主管者は、大会中の参加選手・指導者の傷害については、応急手当を行うが、医師の治療を要する場合は救急病院を斡旋し、救急車による搬送を行うのみとする。

25 その他

- (1) 本大会は、2024年度版4種委員会運営方針によるものとする。

試合会場で正・副2組のユニフォームを準備できなかった場合の対応について

- 試合会場で、正・副2組のユニフォームを準備できなかったチームは、不戦敗(0-5)扱いとする。また、この件に対する救済措置はない。
 - 試合の担当審判（主審・副審・補助審判）は、正・副2組のユニフォームを準備できなかったチームの責任者とともに、会場運営本部または大会本部で担当役員にその内容を報告すること。
 - 担当役員は、該当チームの責任者に、運営方針「14-(1)」の規定を適用することを説明し、対戦チームの責任者にも同様の説明をすること。また、会場運営本部の担当役員は大会本部にもこれらの対応について報告すること。
- (2) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合には、第4種委員会役員において協議の上対処する。
また、中断・中止・延期・打ち切りとすることがあることを留意のこと。
- (3) 大会要項に規定されていない事項については、第4種委員会において協議のうえ、決定する。

※本大会に関する問い合わせ先：（一社）高知県サッカー協会 第4種委員会事務局